

主題名 心に灯す思いやりの明かり

第2学年 B- (6) 思いやり, 感謝



1 生徒の実態 ポイント 1

家族や友人からの親切やいたわりに気付いている生徒が多い。また、行事の参加を通して、地域の人等、多くの人の善意や支えによって今の自分がいるということを感じている生徒もいる。しかし、自らが行う思いやりのある行動については、恥ずかしさや抵抗感があり、行動することの難しさを感じている生徒も多い。

2 ねらい ポイント 1

果物屋の行動から思いやりの心を考える活動を通して、人々の思いやりの中で自分たちが支えられて生きていることに気付き、思いやりのある行動や言動をすることの難しさ乗り越え、思いやりの心をもって他者と接しようとする道徳的実践意欲と態度を育む。

3 教材名(出典) 「夜の果物屋」(教育出版「とびだそう未来へ 中学道徳2」)

4 考えさせたいこと ポイント 1

多くの人からの善意や支えによって今の自分がいることに気付き、思いやりのある行動をすることの難しさよさを感じながら、これからの自分の生活について考える。

5 学習指導過程 ポイント 1

過程	学習活動と主な発問 (○基本発問, ◎中心発問, ・補助発問)	・予想される生徒の発言	□指導上の留意点 ◆評価の視点(方法)
導入 10分	<p>1 事前アンケートの結果から「思いやり」について考える。</p> <p>○「思いやり」とはどのようなことか。</p> <p>・例えば、どんな経験があるか。</p>	<p>・相手のことを思うこと。</p> <p>・相手のことを考えて自分がよいと思ったことをすること。</p> <p>・バスの座席を譲った。</p> <p>・荷物をもってくれた。</p> <p>・優しい言葉をかけてくれた。</p>	<p>□主題に関わる問題意識をもてるように「思いやり」のイメージや経験についてのアンケートの結果を共有する。</p> <p>□「思いやり」のある行動をする側,される側で比較できるように横並びにして板書する。</p>
展開 40分	<p>2 範読を聞き,果物屋の夫婦の「思いやり」について考える。</p> <p>・果物屋は,何をしたか。それについてどう思うか。</p> <p>◎なぜ果物屋は,少女のために明かりをつけていたのか。</p> <p>・どうして話しかけないのか。</p> <p>・気付かれたくないのか。</p>	<p>・少女のために明かりをつけた。</p> <p>・優しい。自分にはできない。</p> <p>・少女が心配だから。</p> <p>・エールを送りたいから。</p> <p>・少女の歌う郷土を思う曲に心を打たれたから。</p> <p>・少女に気付かれてしまう。</p> <p>・気を使わせたくない。</p> <p>・いきなり話しかけると驚かせてしまうから。</p>	<p>□範読を聴く際に,思いやりの行動に着目して聴くように促す。</p> <p style="border: 2px solid red; padding: 5px;">◆果物屋の「思いやり」の深さについて,様々な視点から考えているか。(ワークシート)</p> <p style="text-align: right; border: 1px solid red; border-radius: 10px; padding: 2px 10px;">ポイント 3</p> <p>□果物屋の配慮がなされた「思いやり」について考えられるように「灯りをつけていただけの果物屋の行動」を問う。</p>

展開 40分	<p>3 「思いやり」のある行動の難しさおよびよさについて考える。</p> <p>○「思いやり」のある行動がでないのはなぜだろう。 ポイント 2</p> <p><問い返し例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・目の前で困っている人が親だったら、どうするか。 ・見知らぬ人にいきなり話しかけられたらどう思うか。 <p>○「思いやり」のある行動を取ることによって、どのようなよいことがあるのか。</p> <p>○難しさおよびよさはそれぞれ何を考えているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本当に、相手のためになるかわからないから。 ・はずかしい。 ・相手の気持ちを本当に考えていないから。 ・悩んでしまう。 ・気を使わせてしまうかもしれないから。 ・お互いの関係がよくなる。 ・相手が温かい気持ちになる。 ・難しさは、自分のことばかり考えている。よさは、自分だけでなく相手や周りの人も考えている。 	<p>□誰もが感じる難しさに共感できるように、導入で出た具体例や教材の場面をもとに問う。 ポイント 2</p> <p>◆これまでの生活を振り返り、具体例や教材から気付いたこと等、様々な視点から考えているか。(発言) ポイント 3</p> <p>□どのようなことを考えているのか着目できるように、難しさおよびよさを比較する問いかけをする。</p>
	<p>4 「思いやり」について、これからの生活を踏まえて考える。 ポイント 2</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやりは、他の人への気配りが大切だと思ったので、これから人の気持ちを考えられる人を目指したい。 ・思いやりのある行動をする難しさは、自分のことばかり考えているから感じるのだと思った。 	<p>◆これからの自分について授業での議論を踏まえて、考えを深めているか。(ワークシート) ポイント 3</p>
終末 5分			

6 評価の視点

- ・難しさおよびよさ等、様々な意見や立場を捉え、「思いやり」についての自己の感じ方や考え方を深めていたか。
- ・多くの人に支えられていることについて、自分との関わりの中で考えていたか。

ポイント 1 「考えさせたいこと」を基に学習活動を設定する

本時の学習活動は、役割演技や話し合いといった他の活動に置き換えることも可能である。しかし、効果的な活動を考える際に「考えさせたいこと」を明確に定めていることが重要である。これまでの学習経験を踏まえ、生徒の実態を的確に把握し、ねらいと照らし合わせて「考えさせたいこと」を練っていくことで、効果的な学習活動を設定することができる。

なお、本学級は、これまでの道徳科の授業で、発問と問い返しを中心にした全体での話し合い活動、また、ペアワークや4人程度の話し合い活動を経験している。



ポイント 2 学習活動を基に生徒の様々な学びの姿を想起する

本時では、事前アンケートから生徒が「思いやり」について充実した経験や考えをもっていることが分かった。しかし、同じような経験がありながらも、その価値を十分に言語化できていない生徒もいることも分かった。そのため、教材のみならず生徒の経験を引き出すことで、思いやりについて自分事として考えやすくなるようにした。

ポイント 3 生徒の学びの姿を見取る（具体的な評価の方法）

本時では、事前のアンケートとワークシートの感想を読み比べることで生徒の変容を見取ることができた。授業中の他の生徒の発言によって、自分の考え方が変容したことをはっきりと記述している生徒もあり、発言と記述の内容によって評価をすることができた。

その他の学習指導の様子

1 事前アンケートの活用方法

事前に「思いやりについて考えたこと、印象に残っている出来事、イメージ等、思いつくことを書いてみましょう」と、A4用紙に記入させたところ、次のような記述が見られた。

【具体的なエピソード】

- ・バスに乗っている時、お年寄りがきたら席をゆずってあげること。
- ・サッカーの試合で、負けて泣いている人をコーチが励ましていて思いやりを感じた。
- ・自分が自転車に乗って学校へ向かう時、道路を渡りたくて車が過ぎるのを待っていると、止まって先に行かせてくれる人もいます。僕はこれが身近にある思いやりだと感じました。
- ・僕のお母さんはお父さんのために毎朝早く朝ご飯を作っています。世間から見たら普通のことなのかもしれないけど、僕はすごいと思います。（中略）家族のために一生懸命働いてくれるお父さんの思いやり、頑張ってくれているお父さんのためにお弁当を作ってくれのお母さんの思いやりに囲まれて過ごしている僕は幸せだなあと感じました。

【イメージ】

- ・優しさより相手のことを深く考えているイメージ。
- ・道徳的な心をもって人と関わること。
- ・自分が思いやりと思ってした行動が、もしかしたら逆におせっかいになってしまうこともあると思います。相手が「助かるなあ」と思うことだと思いました。
- ・相手のことを思い行動すること。度を越えると相手の迷惑だったりする。



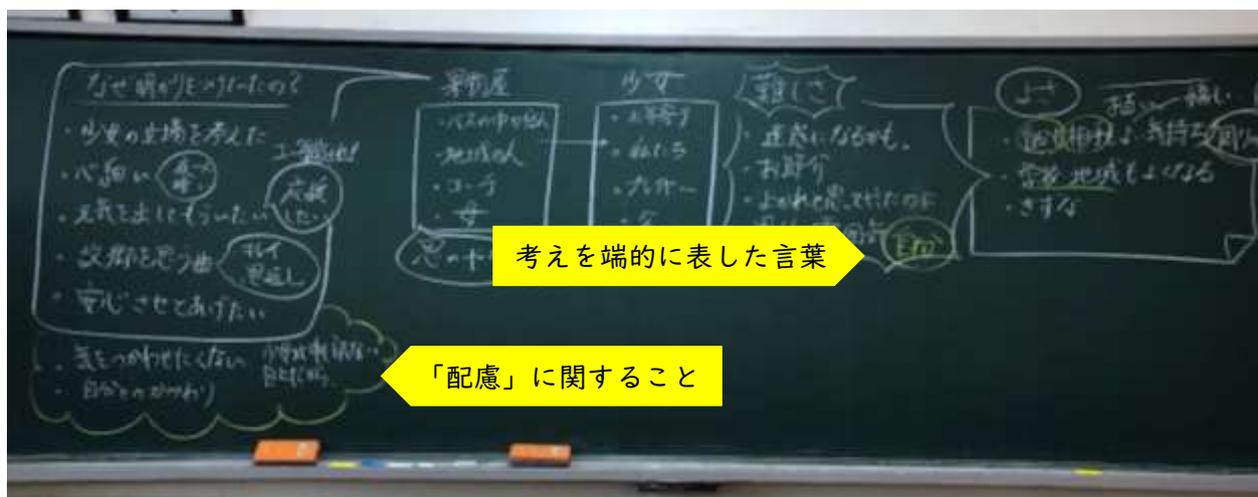
このような記述の中から、導入では「具体的エピソード」を、展開中盤では「思いやりの難しさ」を提示し生徒の思考を促した。教師からの話題提示ではなく、生徒の思考から問題提起することで、後半の思いやりの「難しさ」と「よさ」を考える展開につなげることができた。

2 構造化された板書

思いやりのある行動をする側、される側で比較できるように横並びにして板書した。そうすることで、する側の考えを視覚的に整理し、深めることができた。左下の「配慮」に関することは、問い返して深まったこととして黄色チョークで囲って強調してある。

また、右側の難しさおよびよさについては、生徒の発言を分類して示した。また、それぞれの考えの特徴を端的に捉えられるように黄色チョークで強調した。

本時では、時間の都合で感想まで板書に示すことはできなかったが、右下の余白に感想から見えてくる本時のキーワードを並べると、さらに効果的になると考えられる。



3 ワークシートから見取る生徒の成長

【自分の身近な生活について考えた生徒】

- ・家族や地域の知っている人はもちろんのこと、夏場にくる観光客の方など知らない人にも思いやりの気持ちをもって接していったらよいなと思いました。

【他の生徒の考えを聞くことで考え方に変容が見られた生徒】

- ・友達の見解がすごいなと思ったのは、自分も相手もよい気持ちになるという意見に「周りの人もよい気持ちになる」と付け足したところです。自分が考えられなかったことまで知ることができてよかったです。

【思いやりについて様々な考え方をした生徒】

- ・思いやりについて深く考えてみると、(中略) いろんな難しさがあるけど、それ以上によさがたくさんあることを知ることができました。また私は最初に思いやりとは「人に優しくすること」と書いたけど、ただ優しいという簡単なことではないと思いました。
- ・思いやりのある行動をするのは、それなりに勇気のいることだし、相手のことを考えないとできないことだと思った。人によってお節介だと考える基準はちがうけれど、まずは行動してみる事が大切だと感じた。また、相手に気づかれないように思いやりの行動ができるのは当たり前のように難しいと思うけど、相手からの「ありがとう」を求めないという当たり前の行動をしていきたいと思った。

